

令和元年第10回田原市教育委員会定例会会議録

- 1 開会 令和元年10月8日 午後3時30分
- 2 閉会 令和元年10月8日 午後4時54分
- 3 会議に出席した委員
花井 隆教育長、太田孝雄教育長職務代理者、金田真也委員
天野千栄子委員、高崎佐智江委員
- 4 会議に出席した職員
教育部長 宮川裕之
教育総務課長 伊藤英洋
学校教育課長 渡邊宏光
生涯学習課長 森下 錬
スポーツ課長 粕谷幸充
文化財課長 増山禎之
中央図書館長 是住久美子
教育総務課課長補佐兼係長 小久保義則
教育総務課主査 彦坂幸子
- 6 議事日程
別紙のとおり

田原市教育委員会第10回定例会議事日程

日 時 令和元年10月8日(火)

午後3時30分

場 所 北庁舎3階 300会議室

1 会議録署名者の指名

2 教育長報告事項

3 報告事項

- (1) 教育委員連絡報告事項
- (2) 教育委員会の事務の点検・評価の公表について
- (3) 愛知県市町村対抗駅伝競走大会出場者について

4 その他

開 会 午後3時30分

教育長

始めたいと思います。

本日は何かとご多用のところご出席くださいまして、ありがとうございます。ただいまの出席者は、5名であります。定足数に達していますので、令和元年田原市教育委員会第10回定例会は成立いたしました。これより開会いたします。

教育長

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。今回の署名者として、太田委員と金田委員のご兩名を指名させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

教育長

ご案内のとおり、田原市議会9月定例会におきまして、教育委員としての任期が9月30日をもって満了となる山本明子委員の後任として、高崎佐智江氏を教育委員に任命することについて、市議会の同意を求める議案が市長から上程され、同意の議決がなされました。任期は、令和元年10月1日から令和5年9月30日までの4年間となります。どうぞよろしくお願いいたします。

高崎委員には、先日市長から教育委員の辞令が交付されたところでございます。

それでは、就任された高崎委員から、ごあいさつをいただきたいと思っております。

高崎委員

初めまして、私、高崎佐智江といたします。よろしくお願いいたします。

自宅は赤石にございまして、田原中学校区でございまして。

なにぶんにも若輩者でございまして、皆様方のご指導をいただきまして、何とか務めさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

教育長

ありがとうございました。

次に、それぞれの自己紹介をお願いいたします。

ではまず、教育委員の皆様から順番をお願いいたします。

(教育委員の自己紹介)

教育長

ありがとうございました。

では、続いて部長からあいさつ。

教育部長

お手元に教育委員会事務局組織及び職員名簿と教育委員会事務局の組織・所管事項というものがございまして、せっかくの機会ですので、各課長が課の所管事務を説明しながら自己紹介をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

(事務局職員自己紹介及び各課所管事務説明)

教育長

今年中学校区が5つになりまして、たまたま私は泉なのですが、太

田委員は赤羽根、金田委員は東部、天野委員は福江、それから高崎委員が田原ということで、中学校区に1人ずつ結果としてはバランスよくいるかなということで、それぞれの地区での様子もわかるかなということでもありますので、こういう場にいろいろ言っていただければなというように思いますので、よろしくをお願いします。

教育長

それでは、次第に沿いまして、教育長報告事項について私のほうから報告いたします。

9月15日、MGCパブリックビューイングがあり、ここで見事服部勇馬選手が2位に輝きました。

9月18日、第9回定例会。

9月20日から学校訪問が田原中学校を皮切りに始まりました。

9月21日、博物館で山本二三展が行われ、3日間で2,000人ぐらいで、現在4,000人を超しているということで、過去最高の入場者数をカウントできているのかな。

文化財課長

博物館オープンの際に、国体もあり、そのときに1日に1,500人という記録がありますが、展覧会自体は大体1万人ぐらいがマックス、今回は、1万人を超えるのではないかなという。

教育長

そんな形で、山本二三展好調に進んでおります。

それから、同じ日に運動会のほうがありまして、福江小と亀山小のほうに行っていました。

9月24日、市議会の9月議会最終日。

9月26日、野田小の学校訪問と福江高校の体育大会へ参観に行っていました。高校生が集うということで、例年、明るく楽しくやれているかなという感じがあります。当日、渥美農高のほうも体育祭が行われたようですが、見られなかったのが残念です。それぞれ以前の高校の体育大会とだいぶ変わって、高校の体育大会にも、保護者が結構足を運んでいるというのがいいなと思っております。

9月29日、「みんなの学校」教育講演会ということで、田原文化会館の多目的ホールで、映画と合わせた講演会がありました。大阪から見えた大空小学校元校長の木村先生が、大変熱心にお話しいただき、個別に先生方の悩みも聞いていただいたりもして、カリスマ的な校長先生かなというようで、休日の講演会でしたので、にぎわってよかったなというように思います。

9月30日、中山小学校の学校訪問。

10月1日、高崎委員の辞令交付、ふるさと教育センターの開所式、服部勇馬選手の市長表敬訪問がありました。福江中学校の学校訪問は、私の滞在時間が少なかったですが、12月26日にいろいろな講師の方に来てもらって、ふるさと教育にかかわるような講座を開くので、そちらにも行きたいと思います。

10月2日、教頭会。同日に渥美農高の校長先生と教頭先生がお訪ねいただきまして、10月の最後の週に姉妹校でありますオランダのウェラントカレッジの生徒が8年ぶりに渥美農高に滞在するということが、毎年、農高のほうは、生徒が出かけていたのですが、向こうから来てくれるというのが8年ぶりということで、また楽しみができるのではないかなというように思います。

10月5日、中学校新人体育大会。

10月8日、本日の教育委員定例会第10回であります。

10月10日、田原中部小の学校訪問。

10月11日、華山神社の大祭と兼ね合わせて、山本二三さん本人にお越しいただき、トークショーとサイン会があります。

10月12日、小学校バスケットボール大会に委員の皆様にも行っていただけるようになってはいますが、台風19号が接近しておりまして、次の日のスポーツギネスも含めて心配かなというように思います。

10月14日、田原市民講演会などもあります。

それから、学校訪問がずっとありまして、10月19日に「海に囲まれた花のまちコンサート」ということで、前の週の音楽コンサートとともに2つのコンサートがあるということで、文化の秋かなという予定であります。

10月20日、人権ファンクションの講演会「心の声ちゃんと届いていますか」があります。高知大学の先生にやっていただけます。

10月22日、即位礼正殿の儀ということで、休日になっているということで、子どもはきっと喜んでいるのですが、学校としては休日が多いので、授業時間数を結構心配しております。

10月23日、東三河初任者研修会。これは小中の先生たちが渥美農高で農業高校、実業高校の様子を見て、体験学習の実施をするという会です。

10月24日、研究発表会ということで、神戸小学校が3年間の研究、若戸小学校が2年間の研究の発表となります。また、委員の皆様にもご指導いただけたらなというように思います。

教育委員会の報告を私のほうからさせていただきましたが、何かご質問とかありましたら、いかがでしょうか。

では、以上で報告事項を終わります。

教育長

続いて、教育委員の皆様方の連絡報告事項を順次お願いいたします。

では、太田委員のほうからお願いいたします。

太田委員

私は、前回の定例会からの間に3件参加いたしました。1つ目が、山本二三展に3連休の最終日にお邪魔しました。本当に大盛況でした。皆さん方、それぞれの思いや、感動があったと思うのですが、私はDVDが放映されて、山本二三さんが集団就職で大垣のほうへ来て、そ

こから今の地位を築いて、今のところへ行っただけという、そういう生い立ちというか、普通に絵の勉強をしてきたわけではないのだけれど、途中からそういう才能等を生かしていったという、二三さんの人となり一番感銘を受けてきました。

まだまだ、展覧会は続くと思いますけど、いろいろな人にPRをして、うちの子どもや孫も行ったそうですが、孫はまだ小学校1年生、3年生なので、ちょっとまだまだ行ってもそれほどですけど、やはりうちの子どもあたりだと、一番びったりはまった世代ですので、大変よかったという話をして、うれしく思いました。

それから、9月27日に赤羽根中学校の学校訪問に行かせていただきました。私の母校であり、一番最後の勤務校でもあり、いろいろな思いがあって行きましたけど、4年半ぐらいたっても、そんなに古くなることもなく、施設も、教室環境もきれいになっておりました。それから、子どもたちもとても明るく素直な、そういった様子が授業の中から伺えまして、とてもうれしい気持ちで参加させていただきました。

特に授業の中で、アクティブラーニングとも関連する研究で、私が在職中にやってきたことも継続してやっていたものですから、それも大変うれしく思いましたが、形だけではなくて、中身を意義等、吟味して時代に合わせて変えていくことも必要だということも最後の講評の中で言わせていただきました。

大変若い先生が多くなってきているものですから、若い先生もまだまだ授業のほうは、授業量という面ではいまいちですけども、若いなりの発想だとか、子どもとも年齢が近いわけですので、そういう面のよさを生かしてやっていけるといいかなというように思いました。

それから10月1日に、福江中学校の学校訪問に行かせていただきました。福江中は一番長く勤務した学校ですので、これも大変楽しみに行きました。福江中に勤務してから12、3年ぐらいたっているのですけれども、校舎は骨組み自体は全く変わっていないのですが、統合もあって、とても明るく、壁の色も床もきれいになっていますし、それから施設等も統合も含めてとてもよくなっているなということを感じました。ハード面だけでなく、ソフトの部分、学校経営の部分も、福江中は学校訪問の中で、どなたかの指導主事の先生が言われましたけれども、東三でも一番進んだ学校経営をやっているのではないかなということを感じました。

いろいろな新しいことや、ほかの学校ではない特徴的なことをやっているのだけれども、それがかえって負担にならないように、働き方改革という面でも力を入れていきますけれども、やはり削減することや軽減することもあわせて考えていったほうがいいのではないかなということをお話しさせていただきました。また、福江中がやっているコミュニティスクールや中高一貫など、そういったことをそのまま他校

教育長

金田委員

に広めることはできないと思いますけど、福江中がやっていることをほかの学校にも上手に影響を与えていけるような、そういうことも必要ではないかなということを感じました。

1学期、2学期で中学校3校と小学校は泉小へ行きました。全体を見たわけではないですけれども、中学校のほうが以前に比べれば、授業には力を入れていますけれども、やはりまだまだ小学校のほうが少し、授業の質の面でいえば上かなということを感じました。いろいろ部活等で、先生方の負担も多いと思いますけれども、授業を中心に据えた学校経営というものも、これから考えていただきたいなということを感じました。

以上です。

ありがとうございました。

続きまして、金田委員お願いします。

9月21日土曜日に、高松校区大運動会に参加してまいりました。普通だったら、何々小学校運動会なのですけれども、ここは校区の大運動会ということで、老人の方から校区の人たち、PTA、保護者、あと中学生も5人いました。それから保育園の子たちとか赤ちゃんまで、参加できる人はここに来て、運動会に参加するという感じでした。

子どもは、81人いるのですけれども、小学生は赤と白に分かれて対抗戦。地域も6地区あるのですけれども、3地区ずつ東西に分かれて東西対抗。赤白対決、東西対決ということで、非常に盛り上がって、地域も活性していて、とても活気があるスポーツ大会だなというように感じました。

自分は、午前中しか見られなかったのですが、昼からさらに対抗戦が進んでいって、そのあと各地区に分かれて公民館に集まって、お弁当を食べたり一杯飲んだりするという、そんな一大イベントになっているとおっしゃっていました。

また、ジャージが赤羽根中に合わせてあるということで、小学校から中学校に上がる时候にもジャージを買わなくて済むので、助かるなというのと、少し不安の声として、こども園になると、高松、赤羽根、若戸が合併してしまい、保育園の子達が全員来られなくなるよね、ちょっと寂しいね、仕方ないけどね、というそんな声も聞かさせていただきました。

10月1日のふるさと教育センター開所式には、用事があって行けないのですけれども、何がなんでも行きたいということで、本日お邪魔してきました。

行きたかった理由は2つあり、生涯学習課の活動というのは、成人式しか基本法には見に行ったことがなかったということが1点。もう1点は、妻を連れて行こうかなと思いました。なぜなら、夏休みが開けてから、高校生の子どもが学校へ行きたくないという相談を立て続

教育長
天野委員

けに2件聞いていまして、そういったときに話を聞いて、「うん、うん、そうだね」と答えるだけで終わってしまうということなので、ふるさと教育センターに連れて行って、相談窓口を見てみて、案内の紙をいただいております、もしよかったらこういったところに相談するといいかもよと案内できる、ここまでの動作ができるといいなと思いました。窓口をみて、とてもいいところだなと思いましたが、あと、文化財がたくさん眠っているのも見せていただきました。

以上です。

ありがとうございました。では、天野委員お願いいたします。

9月21日に福江小学校の運動会にお邪魔しました。お天気がすごく心配されていたのですが、基本的にはくもりで、テントの設営もあったものですから、熱中症の心配がなくて、朝パラパラ雨が降りましたので、ほこり抑えにもなってちょうどよかったのではないかなと、来賓テントの中で皆さん口々に話されていました。

今年は、私の妹が福江保育園の年長の担任させていただいている関係と、その旦那さんがPTA会長をさせていただいております、さらに地区の来賓でうちの主人と私とで、一族でお邪魔をいたしまして、校長先生にも一族お揃いでと、ごあいさつをいただきました。

今年のスローガンが「全力笑顔！輝け絆！一人一人が福小のヒーロー」ということで、どの種目も暑い中頑張って練習した成果が出ていて、感動させていただきました。地区の方々と参加する種目もありまして、地域との絆というのを感じられていいなと思いました。

4、5、6年生の演技で、普通の組み体操ではなくて、来年のオリンピックの開会式をイメージした組体操をつくりましたと説明があつて、児童がそれぞれ5色のリストバンドをつけて、5つの輪に隊形をつくって演技したりですとか、あとオリンピックの各種目をポーズで表現したダンスをしたりだとか、最後は聖火台への点火から燃え上がる聖火をイメージしているのを全員で表現したり、本当にとっても美しく、会場からもおおっという拍手が送られていました。

組体操のピラミッドのてっぺんに上る予定の子が、前日の練習中にけがをしてしまい、急遽交代で、最後の運動会に残念だったというのをPTAの役員の方からお聞きしました。

地元ですので、昼からも参加できたらと思っていたのですが、仕事もあり、お昼前にご無礼いたしました。

10月1日に田原市ふるさと教育センターの開所式、見学会に参加させていただきました。新聞にも載っていたのですが、文化財が収蔵されている旧武道場に所狭しと、農具のコーナー、漁具のコーナー、生活の道具のコーナーなど、ありとあらゆるものが並んでいて、数にすごく圧倒されました。その中でも、小ぶりな大八車みたいなものにおみこしの様なものが乗っていて結構な装飾があるものがあり、

これは何かなと思ったら、昔、土葬だったころに、亡くなった方を入れる桶を入れる、今でいう霊きゆう車ですねと教えていただいて、これまた貴重なものだなと思いました。そういうレベルのものがそこには、ぎゅっと詰められているのだなと思って、またゆっくり見学させていただく機会があったらお邪魔したいと思いました。

旧野田中の校舎なので、来賓の中に経験のある先生たちが、ここは理科室だったねとか、音楽室だったねとか、懐かしい中にもいろいろなお話が飛び交いながら、楽しい見学会をさせていただきました。

先ほど、金田委員がお話しされたこととほとんど一緒なのですが、「はなそう」の冊子が、主人あてにお手紙をいただいた中に2冊入っていました。うちの主人が青少年健全育成をさせていただいている中で、相談に来られた方にご活用くださいと書いてあったので、もしいただけるのであれば私たちにもいただけたらなど。中を見ますと、きっと困っている方がここに行けばいいんだなということで、まず安心するというか、すごくいい冊子だと思ったので、もし分けていただけたらなと思いました。

実は、2年前ぐらいから子ども若者相談窓口にみえた方が、研修生として、うちのイチジクを学びながら、自分のうちでもやりたいということで、来ていまして、その方が自分のところで今年初めて出荷を迎えまして、まだ少ししか取れないものですから、自分のところの出荷をし終わってから、また家に手伝いに来ていただいています。もともと引きこもりの方ということで、なかなか「おはようございます」の一言がまだ出たり出なかったりということもあるのですけれども、続けて来てくださっているということで、ゆっくり関係を築いていこうと思うのですが、今年から出荷ができて、その方も収入を得てまた違うやりがいを感じられているということで、お手伝いに来ていただいたときの、その仕事に向かう姿勢も何か違うねということをも主人と話していました。この間、近所の方から「農福連携」という言葉をいただいたのですが、農業と福祉を連携させようということで、農家の立場でお役に立てることがあれば、ご協力したいなと思います。

以上です。

教育長

ありがとうございました。

ではまた、冊子を用意しておいてもらって。

生涯学習課長

はい。

教育長

また紹介できるかなと思いますので、金田委員さんからもありましたので、教育委員さんたちにも宣伝活動、相談活動の一翼を担ってもらいたいかなと思います。

高崎委員

高崎委員さんは、1週間ですけど何か。

皆さん、熱心にいろいろ考えていらっしゃるって、私できるかなと心配になったのですが、お話を伺っていて思ったのは、義務教育を我

が子が受けさせていただくことが当たり前のように思っていたことが、実は、皆さん方のとても温かいお心があって、たまたま子どもは大学と社会人になりまして田原市にはいないのですけれども、今それが礎になっているんだなということを感じました。

今「はなそう」ですとか、私も子育てをしながら、PTAの役員などをやらせていただいたのですけれども、一番感じましたのは、悩んでいらっしゃる方が、どのように解決していいかわからないという現状が過去ではありますが多々ありました。やはり、何か皆さん方のお力になるということは、知識不足では中途半端になってしまうものですから、橋渡しができるように、私が成長できたらいいなということを感じました。

以上です。

教育長

ありがとうございました。

私と一緒に学校でやられたときは、高崎さんにボランティアで読み聞かせを一所懸命やっていたいただいて、例えば、ハロウィンがきますと、ハロウィンお姉さんに、クリスマスになればサンタクロースになって学校に来てくださいましたので、そんなことでいろいろご活躍いただいたのですが、また、違った目で次回またご報告いただきますので、こんな形でやっていただけたらなと思います。

では、教育委員さん方の報告事項を終わりたいと思います。ありがとうございました。

次に、報告事項（２）「教育委員会の事務の点検・評価の公表について」事務局からの報告をお願いいたします。

教育部長

皆さんのお手元に、「教育委員会の事務の点検・評価を公表します」というのが頭にある資料がありますので、ご覧ください。

地方教育行政法という法律がありまして、その中に教育委員会は毎年、その権限に属する事務について、点検及び評価を行って公表しなければならないという規定がございます。

今まで、私どもも通常の市長部局と同じような形で事務事業評価という形で点検・評価を行ってきました。それで、行政一般のほうも議会にも提出し、市のホームページで公表もしていましたが、教育委員会のページにも教育委員会の事務として点検をしましたという公表が必要ではないかといったことがございましたので、ほかの市長部局と一緒に点検したものの中から教育委員会の関係だけを抜き出しをして、教育委員会のページにも公表していこうというように思っております。事業がたくさんございますので、全部の説明をすることはできませんが、各課からかいつまんで報告をさせていただきます。

よろしく申し上げます。

教育総務課長

それでは、まず教育総務課からご説明させていただきます。

教育総務課は、事務事業だけでも11項目ありますので、現在、課題

解決等事務局で取り組んでいるというような主な事業を4点ほど抜粋してご説明させていただきます。

表の左端に番号が振ってありますので、番号で順に説明いたします。

まず、2番の小中学校再編事業でございますが、これは今年の5月に田原市学校未来創造計画を策定いたしましたので、その計画に沿いまして、小中学校の適正規模・適正配置や小規模校の充実策、また老朽化の進む学校施設の長寿命化対策を行っていくこととしているといった、極めて重要度の高い事業となっております。

また、令和3年4月の赤羽根中学校と泉中学校の統合に向けまして、現在、統合準備委員会を開催しております。生徒たちにとってよりよい学校統合となるように環境整備に努めているところでもあります。

続いて、5番の小学校管理運営事業をご覧ください。こちらにつきましては、昨年度からの継続事業でもあります、小学校、中学校も含めまして、普通教室へのエアコンの設置をいたしました。さらに、今年度中には、トイレの洋式化プラス温水便座等の設置を行ってまいります。これも児童生徒の教育環境の向上に努めていきたいといった事業でございます。

それから、6番の小学校情報教育整備事業ですが、こちらは児童生徒のコンピュータの環境整備のために、現在はデスクトップ型のパソコンを使った授業を展開しておりますが、今年度、タブレット型パソコンへの切りかえを行います。これもICT環境の変化に対応した整備ということで進めてまいります。

最後に19番をご覧ください。伊良湖岬小学校整備事業とありますが、これは平成27年に伊良湖小学校、堀切小学校、和地小学校の3校が統合した際、伊良湖岬小学校として開設しまして、現在、旧和地小学校のほうで学校生活を送っておりますが、令和3年9月には、伊良湖岬中学校跡地に新しい小学校の校舎を建設するとしまして、供用開始を目指しているといったところです。現在、伊良湖岬中学校は解体を終えまして、校舎の建設工事のほうに入っております。引っ越しをする時期もありますが、令和3年9月の供用開始を目指して、環境の向上を図ってまいりたいといった事業となっております。

簡単ですけど、教育総務課の主な事務事業の説明とさせていただきます。

学校教育課長

では、続きまして、学校教育課の事務事業について、9番から18番までにわたっての内容から3点についてご説明いたします。

まず、10番の国際理解教育推進事業をご覧ください。こちらは、来年度から始まります小学校の英語の教科化に対応するための事業となっております。英語指導に不慣れな小学校教員が自信を持って英語の授業ができるように、4人のALTと9人の外国語指導助手を配置して、田原独自の学習プログラムの開発を進めてまいりました。来年度

からいよいよその運用が本格化するわけですが、今後さらに予想される諸課題について対応してまいります。

次に、12番の教育サポート事業についてです。現在、田原市には30日以上欠席をしている、いわゆる不登校児童生徒が28名おります。さらに、不登校が心配される児童生徒は32名に上ります。これ以外にも、発達障害や家庭の事情などから、悩みを抱えたり、問題行動に走ったりする児童生徒を含めまして、本人や家庭、さらにはその指導に当たっている教員の相談機関として、サポートセンターの役割がさらに高まっております。拠点がふるさと教育センターに変わります。それを機に、またその機能を高める方策を考えてまいります。

最後に17番の共育推進事業をご覧ください。田原市学校教育振興計画の重点項目にありますふるさと学習を推進する基幹事業になっています。本年度は福江中学校がコミュニティスクールになるなど、学校と地域の新しいかかわり方を提案する新たな取り組みが進行中であり、市といたしましても、今後の展開を見守りつつ、必要な支援を進めてまいります。

以上で学校教育課の主な事務事業説明を終わります。

続きまして、生涯学習課から説明いたします。

22番から生涯学習課の事業が始まります。

生涯学習課では、全体で21事業ということで非常に多くの事業がございます。その中で主だったものの説明をさせていただきます。

初めに23番、生涯学習講座等開催事業でございます。こちらは、いろいろな年代の方を対象にいたしまして、学習の機会を提供するものでございます。児童生徒文化体験教室、しおさい大学、市民カレッジ等々を開催しております。実際には市民の方にご協力いただいてボランティア的に講師を務めていただいたりということで、そういったことから、そこで学んだ方にまた教える側に回ってもらうというような、循環ができればいいなということで進めている事業でございます。

次の24番、市民館運営事業でございます。こちらは、市内にあります20の施設、市民館の維持管理と運営ということでございます。市民館は、各地区のコミュニティの拠点となっており、本当に親しみのある施設となっております。こちらのほう、なるべく有効に活用していただけるようにということで、整備のほうを進めております。

続きまして、34番から43番までです。こちらは市内にございますスポーツ施設関連施設、公園等の管理、運営でございます。非常に多くの方々がスポーツに親しんでいただいているわけですが、そちらの人に使っていただける施設をよりよいものにしていくということで、こちらのほう、整備運営をしているものでございます。

次に44番、青少年健全育成事業でございます。こちらは、先ほどの中でもお話しをさせていただきました、青少年に関するようなことと

ということで、ふるさと教育センターで行っております「子ども若者総合相談窓口」ちなみに昨年は約500件、実人員で47名の方のご相談を伺ったという、もちろんこちらについては、電話であったりメールというものも含まれておりますけれども、このように非常に多くの相談件数があるということで、先ほどお話しいただいたように、少しでもそういった方のお役に立てればということで、頑張っているところでございます。

次に、最後になりますけれども、48番から52番までになります。こちらは、先ほどはスポーツでしたけれど、文化ということで、文化会館等、そちらのほうの運営に携わるものとなっております。こちらにつきましても、市の活動ということと、多くの方に利用していただいているということで、かなり老朽化をしているところも多いのですが、そういった部分の修理をしたり、あるいは使いやすいうようにしていくということで、順次運営をしているところでございます。非常に多くの施設を抱えているということで、なかなかすべてのところに十分なといいますか十二分なところまではいかないのですが、なるべく利用者の方に負担のないような格好で整備を進めております。

簡単でございますが、生涯学習課の事務説明とさせていただきます。一旦ここでできます。ご質問等ありますか。

すみません。

この評価自体わかっていないのですが、評価責任者は、課長さんが評価責任者で、妥当性、有効性、効率性を評価されている。これを見ますと、「普通」、「高い」、「極めて高い」の3段階ぐらいですね。

「普通」と「高い」と「極めて高い」の3つです。

効率性はわかるけど、妥当性と有効性の違いはどういうところですか。言葉の意味になってしまうのですが、それぞれを別々に評価されているのですが、事業が妥当、有効というのが、よくわからないのですが。

説明会とかでは、この今やっている事務事業が先ほど太田委員さんの言われたように妥当かどうかという判断と、それから今後も続けていくための有効性はどうか、まだあるのかというようなことも含めた評価の仕方もあるよというような説明をされました。ただ、評価自体が妥当性の評価と有効性の評価を分かれているので、1つにひっくるめたものでは評価をしないというようなことは言っていましたけど、答えになってないですね。

これは、何か数値で出るわけではなくて。

いや、違います。

数値ではなく、自己評価で、感覚ですかね。

そうです。

だから、評価された方も難しいのではないかなと思った次第ですが。

教育長
太田委員

教育部長
太田委員

教育総務課長

太田委員
教育部長
太田委員
教育部長
太田委員

教育長

低いとして、やめてもいいかなというものもあるかなと。問題提起的なものだけでも。ただ、低いとしてしまうと、続けにくいというのがあるので、高止まりというような、極めて高いというのも一部。

これがある意味、変化を求めにくい状況になってはまずいかなという。見直しを含めた予算はどんどん上から今後、切られていくというか、枠が狭まっていきますので、そういう中で今までに近い形で続けられるかどうかということもあります。

では、残り3課の説明をお願いいたします。

スポーツ課長

スポーツ課です。28番から33番になると思います。

先ほど、妥当性、有効性、効率性という話もありましたけど、1つは定量的に判断するものと、いわゆる定性的に判断するもの、例えばスポーツに置けると、総人口に対して、どのぐらいスポーツをやっている人多ければそれは有効性なのか、妥当性なのかということも感覚というところもありますので、決して定量的ではないというように感じます。

スポーツ課のほうは、一応、5事業ありまして、33番のワールドサーフィンゲームスというのが独自に昨年やったものでございますけれども、それぞれかいつまんで説明させていただきます。

まず、28番、スポーツ振興事業でございますけれども、こちらの事業については、主にスポーツ推進委員さんあるいは、スポーツ普及委員さんを中心としたスポーツ振興を図っているものでございます。

内容につきましては、例えば、スポーツ推進員でニュースポーツを各種のところへ行ってやっているだとか、ノルディックウォーキングの講習会をやっているだとか、そういったものの内容でございます。

29番のスポーツ団体支援事業というのは、主な事業内容としましては、体育協会やスポーツ少年団への運営費補助だとかのくくりが入っております。

30番の学校施設開放事業ですけれども、こちらに関しては、市内の小中学校の23校の屋内運動場等の夜間開放を中心として、スポーツの振興を図るといったような内容でございます。

31番のスポーツ大会開催事業でございますけれども、こちらについては、各種スポーツ大会の開催、例えば、今度10月13日に行われるスポーツギネス大会だとか、ウォーキング大会、ニュースポーツ大会、あるいは各種のスポーツ教室といったものも含めて主にスポーツ大会開催に対する費用にかかった経費でございます。

32番、スポーツ大会支援事業というのが、こちらは中部北陸実業団駅伝、トライアスロン、サーフィン全国大会、渥美半島駅伝競走大会の開催に係る支援としての事業でございます。

そして最後、33番のワードサーフィンゲームスの開催事業でございますけれども、こちらについては、昨年行われまして、42カ国197名の

参加がありました。開催期間8日間ありましたが、約5万人の来場者ということが新聞等で発表されております。

以上でございます。

教育長

つけ足しで、34番以降は、スポーツの振興というようになっていますが。

スポーツ課長

すみません。34番からは、先ほど生涯学習課長が説明していただきましたけれども、34番から43番までは、昨年までスポーツ課の中に所属しておりました施設管理係というものが担当しておりましたが、この令和元年4月から、施設管理係が生涯学習課に移ったということで、評価のほうは、生涯学習課長に評価していただいたというような内容です。

教育長

続いて、文化財課のほうから。

文化財課長

文化財のほうは、最後の2ページの51番池ノ原会館、53番埋蔵文化財、54番文化財保護事業、55番崙山会館運営事業、56番博物館運営事業、そして最後が58番吉胡貝塚公園運営を事務事業評価としてやっております。この中で、吉胡貝塚については、今までどおり、入館者等も徐々に増え続けているところですので、こちらのほうは今のとおり充実していきたいというように考えております。

中で、54番と56番について、説明を申し上げたいと思います。

54番の文化財保護事業ですが、先ほど申し上げましたように田原市には多くの文化財があるということで、この文化財を保護するだけではなく、それを指定の文化財に格上げをしていくということをどんどんやっていきたいというように考えております。それを起点にしてふるさと学習、そういうものにつなげていきたいなというように考えております。しかしながら、前年度に関しては、指定の文化財のほうに間に合いませんでしたので、今後それらをどんどん、どんどん指定をしていきたいと思います。

続きまして、56番の博物館運営事業でございます。こちらは、博物館というのは、文化財を展示する施設で、ふるさと学習の拠点となる施設になっております。そして、現状と課題のところを見ていただきますと、平成30年度は1万2,000人の入館者ということで、昨年とはまたま周年事業で大きな展覧会をやりましたので、若干上がっておりますが、博物館については徐々に右肩下がりというような状況でございます。そういうことを踏まえまして、本年度、山本二三展という、いろいろな方が親しんでいただけるような展覧会をやっております。

しかしながら、やはりふるさとのいいところを見ていただくということに関しましては、ふるさとの展示も充実していきたいということで、今回の展覧会を少しでも多くの方が見ていただいて、博物館を利用していただく、そこからふるさとの学習につなげていきたいというように考えております。

中央図書館長

以上でございます。

最後に図書館ですけれども、図書館は26番と27番になります。

26番の図書館運営事業のほうですけれども、こちらは市内の図書館3館、それと市内の小学校を巡回する移動図書館車2台の管理運営に関するものになります。課題としましては、読書や図書館利用について、地域や年代で格差が存在してしまっていて、図書館に来たくても来館しづらい市民の方々へのサービスというものが課題となっておりますので、学校へ移動図書館車で出向いたりですとか、デイケアやグループホームなどの高齢者施設へ図書館が出向き、回想法や貸出しを初めとしたさまざまなサービスを実施しまして、そういったアウトリーチによる貸出しや利用が昨年度は増加しております。

また、豊橋市図書館や豊橋技術科学大学等との連携ですとか、Code for MIKAWA等、地域のICTを使ってまちづくりをやっていこうというような団体と一緒にウィキペディアタウンを開催したりですとか、そういった市民協働が進んでいるところです。

続きまして、27番の図書館資料収集事業です。こちらは市内の図書館及び、移動図書館車のサービスに必要な本を買ったり、雑誌、新聞を買ったり、CD、DVDでの視聴覚資料を買ったりというそういった事業となっております。いろいろなライフスタイルの変化などもありまして、貸出冊数というのが全国的に落ちておりまして、田原市も同様に貸出冊数というのが徐々に減少傾向が続いております。多様化するニーズに応え、限られた資料費を効率的に使うように、読書や学習や課題解決のニーズに応える資料を積極的に収集しまして、こまめにさまざまなテーマで展示やアウトリーチサービスを行いました。去年は展示大小合わせて90回ほど、いろいろなテーマで展示を行ったりしております。特に、重点的に購入したものとしまして、学校向けの資料ですとか、行政各部署に役立つ資料、それから議会運営に役立つような、議員さんたちにとって参考になるような資料ですとか、高齢施設等への資料提供を充実させました。

今後も効率的、効果的な資料収集を行いまして、いろいろな方々のニーズをとらえて、新たな価値を提供するサービスを実施していきたいと考えております。

以上です。

教育長

ありがとうございました。

今の図書館の資料収集事業を見ていると、上が平成29年度の決算、下が平成30年度ということで、資料収集も1,000万円減ってしまったなというところで、また来年度予算に向けて、上手に奪回していったらなということも見ていただけるといいかなということです。部長補足等ありますか。

教育部長

こういった形で、私ども毎年点検をやってきました。これは、なぜ

教育長

やるかという、当然市民の皆さんに説明をしますというのが1つあります。それは、私たち職員が自分たちみずから評価することで、改善だとか来年の予算、どういった制度を組み立てていこう、こういったときの点検の参考、事業の活性化といったものに役立つものだと思うっております。こんな形で、これから毎年この教育委員会の場を借りまして、皆様方に報告をしていきたい、そしてホームページにも公表してまいりますのでよろしくお願いいたします。

ということで、質問がありましたら、受けたいと思っております。

今回、初めてこういう形で事務事業の評価を示させていただきましたので、またいろいろな面で委員さんたちにも目を光らせていただけるといいかなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

では、以上で教育委員会の事務の点検評価についてを終わりたいと思っております。

続いて、報告事項(3)「愛知県市町村対抗駅伝競走大会出場者について」事務局から報告をお願いいたします。

スポーツ課長

スポーツ課からです。愛知万博メモリアル第14回愛知県市町村対抗駅伝競走大会の出場者名簿がついていると思います。

9月29日に白谷運動公園のほうで、小中学校については選考会を行いまして、その結果にもたれてこうしたメンバーの選出がされております。高校生以上、一般の方については、陸協の方と調整をしながらそれぞれ参加していただいているということです。

12月7日にモリコロパークのほうで、午後0時45分のスタートを予定しております。市民の方へ応援ツアーもありますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

教育長

愛知駅伝ですけど、森選手は今年20歳になる方で、去年も結構、区間2位か3位ぐらいでしたので、今年ぐっと伸びると区間賞を取れるぐらいかもしれないです。

教育長

続きまして、その他で何か事務局からありますでしょうか。

教育総務課長

毎回、定例会の資料の中に、教育委員出席日程(案)ということで、今後のスケジュールを載せさせていただいております。またこの中に出席者等ということで、右側にお名前のある委員さん、それから今後、また調整をしていって決めていく用事等も徐々に入ってきますので、そちらを常に見ていただくような状況でよろしくお願いいたします。

それから、来月の第11回定例会につきましては、11月12日火曜日午後3時から、会場は200会議室になりますので、ご予定ください。

委員の皆さんにはまた、1週間前には告示ということで、議案を配付をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

私からは以上です。

学校教育課長

私から、資料はございません。口頭での報告です。

部活動の見直しについてです。蒲郡であるとか、豊橋市等他市で部活動の見直しが報道等でも発表されております。本市でも抱えている課題は、同様な部分がございます、部活動の見直しをこれまで関係者の中でいろいろとご意見いただきながら、原案の作成を進めてきたところなのですけれども、ようやく各学校にその内容の周知をしながら、現場の先生方のご意見をいただきながら、それを修正していくという段階になってまいりました。

まだこの場でお示しするような形にはなっておりませんが、この後、各学校から地域へそういった情報が伝わり、委員さんのお耳にも入るかと思いますが、またそのあたりの情報も広くお預けいただいて、情報をいただければありがたいなと思います。今、見直し、いよいよ原案作成がそういった段階にいるということを報告させていただきます。よろしく申し上げます。

以上です。

教育長

以上で事務局からの報告はよろしいですかね。

では、最後に委員の皆さんのほうで何かございましたら、受けたいと思いがいかでしょうか。

よろしいでしょうかね。

以上で、本日の議事はすべて終了いたしました。

ご協力ありがとうございました。

これを持ちまして、田原市教育委員会第10回定例会を閉会とさせていただきます。お疲れさまでした。

閉 会 午後4時54分

(会議録署名人)

教育長

委 員

委 員